

事業コード	R2-建-新-03		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防えん堤工		班 名	砂防班 (tel)018-860-2517
路線名等	館ノ下沢		担当課長名	河川砂防課長 田森 清美
箇所名	大館市山館		担当者名	流域防災監(兼)班長 村上 龍巳
プランとの関連	政策コード	01	政策名	県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施策名	災害に備えた強靱な県土づくり
	指標コード	03	施策目標(指標)名	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業期間	R3~R6(4年)	総事業費	2.2 億円	国庫補助率	50.00																																																																								
事業規模	○ 砂防えん堤1基(H=8.0m L=28.0m)																																																																												
事業の立案に至る背景	<ul style="list-style-type: none"> ○ 館ノ下沢は、大館市中心部から南東に位置し、人家13戸、要配慮者利用施設、国道103号(第一次緊急輸送道路)等の公共施設が保全対象となる土石流危険渓流である。 ○ 渓床には多くの不安定土砂及び流木が堆積しているため、豪雨等によりこれらが多量に流出し、甚大な土砂災害をもたらす恐れがある。 ○ 本事業は、人家及び要配慮者利用施設や国道103号等の公共施設を保全するため、砂防えん堤工を整備し、土砂災害の防止を図るものである。 																																																																												
事業目的	<p>【主たる目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防設備の整備により、下流の人家及び要配慮者利用施設や国道103号(第一次緊急輸送道路)等の公共施設を保全し、地域の安全・安心な暮らしを確保する。 <p>【保全対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人家13戸 ○ 要配慮者利用施設 ○ 国道103号(第一次緊急輸送道路)L=90m ○ 市道 L=545m ○ 耕地A=2.05ha 																																																																												
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全 体</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>220,000</td> <td>36,000</td> <td>34,000</td> <td>100,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>150,000</td> <td></td> <td></td> <td>100,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>5,000</td> <td></td> <td>5,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>65,000</td> <td>36,000</td> <td>29,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 国庫補助</td> <td>110,000</td> <td>18,000</td> <td>17,000</td> <td>50,000</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td> 県債</td> <td>99,000</td> <td>16,200</td> <td>15,300</td> <td>45,000</td> <td>22,500</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>11,000</td> <td>1,800</td> <td>1,700</td> <td>5,000</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td></td> <td>地質調査等 詳細設計</td> <td>用地測量等 補償調査</td> <td>砂防えん堤工</td> <td>砂防えん堤工</td> </tr> </tbody> </table>						全 体	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	事業費	220,000	36,000	34,000	100,000	50,000	経費						工事費	150,000			100,000	50,000	用補費	5,000		5,000			その他	65,000	36,000	29,000			財源						国庫補助	110,000	18,000	17,000	50,000	25,000	県債	99,000	16,200	15,300	45,000	22,500	その他						一般財源	11,000	1,800	1,700	5,000	2,500	事業内容		地質調査等 詳細設計	用地測量等 補償調査	砂防えん堤工	砂防えん堤工
	全 体	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降																																																																								
事業費	220,000	36,000	34,000	100,000	50,000																																																																								
経費																																																																													
工事費	150,000			100,000	50,000																																																																								
用補費	5,000		5,000																																																																										
その他	65,000	36,000	29,000																																																																										
財源																																																																													
国庫補助	110,000	18,000	17,000	50,000	25,000																																																																								
県債	99,000	16,200	15,300	45,000	22,500																																																																								
その他																																																																													
一般財源	11,000	1,800	1,700	5,000	2,500																																																																								
事業内容		地質調査等 詳細設計	用地測量等 補償調査	砂防えん堤工	砂防えん堤工																																																																								
調査経緯	○ 令和元年度 県単砂防事業 砂防流域調査																																																																												
上位計画での位置付け	○ 第3期ふるさと秋田元気創造プランにおける基本政策「県土の保全と防災力強化」を推進																																																																												
関連プロジェクト等	○ 特になし																																																																												
事業を取り巻く情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国的に雨の降り方が局地化・集中化・激甚化しており、令和元年の土砂災害の発生件数は1,996件で、統計を開始した昭和57年以降4番目に多い件数を記録している。 ○ 県内においても平成29年7月22~23日の豪雨では、土砂災害による被害が多数発生している。近年、集中豪雨による自然災害が多発しており、ソフト・ハード両面からの対策が重要である。 																																																																												
事業効果把握の手法	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">土石流危険渓流に対する概成率(%)</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">対策済み渓流数/土石流危険渓流数(%)</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td colspan="2">○ 成果指標 ● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">17.7%(R4末)</td> <td>データ等の出典</td> <td>河川砂防課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">16.9%(R1末)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">95.5%</td> <td>把握の時期</td> <td>令和2年3月</td> </tr> </table> <p>※第3次秋田県豪雪地帯対策アクションプログラムにおける目標値を記載。</p>					指標名	土石流危険渓流に対する概成率(%)				指標式	対策済み渓流数/土石流危険渓流数(%)				指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	17.7%(R4末)		データ等の出典	河川砂防課調べ	実績値 b	16.9%(R1末)				達成率 b/a	95.5%		把握の時期	令和2年3月																																										
指標名	土石流危険渓流に対する概成率(%)																																																																												
指標式	対策済み渓流数/土石流危険渓流数(%)																																																																												
指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																																									
目標値 a	17.7%(R4末)		データ等の出典	河川砂防課調べ																																																																									
実績値 b	16.9%(R1末)																																																																												
達成率 b/a	95.5%		把握の時期	令和2年3月																																																																									

2. 所管課の1次評価

事業コード (R2-建-新-03)
 箇所名 (大館市山館)

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土石流が発生した場合、人家、要配慮者利用施設の直接被害のほか、第一次緊急輸送道路である国道103号の被災による緊急時の交通手段確保が困難となるため、事業実施の必要性は高い。 ○ 砂防法第5条により工事の施行は都道府県が行うものと位置付けられている。 	27 点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該溪流は不安定土砂や流木が堆積しており、今後の豪雨等により土砂災害をもたらす恐れがあるため、早急な整備が必要である。 	22 点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防設備を整備することにより、土砂災害から人命や財産が守られ、下流域の安全性が確保される。 ○ 土石流危険溪流に対する整備率向上に直接寄与する事業であり、施策目標への貢献度は高い。 ○ 土砂災害防止法に係る基礎調査の結果を踏まえ、土砂災害特別警戒区域、警戒区域に指定済みであり、大館市においてハザードマップにも位置付けるなどソフト面での対策も併せて実施している。 	10 点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の費用便益比は7.68であり効率性は極めて高い。 <ul style="list-style-type: none"> ・総費用の現在価値 2.16 億円 ・総便益の現在価値 16.59 億円 ○ 事業実施においては、残存型枠使用によるコスト削減等の検討を行う。 	15 点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨今の集中豪雨による各地の被害や土砂災害防止法による土砂災害警戒区域の指定を受け、大館市の防災意識が高く、砂防施設整備の必要性を強く認識している。 ○ 大館市から土石流対策の早期実施について要望書が提出されている。 	10 点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	84 点
	多くの項目において評価点が高く、住民の生命・財産だけでなく、重要な公共施設等を保全するため、必要性が高い。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	
	評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード R2-建-新-03
箇所名 大館市山館

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	災害発生時の影響(被害想定)	人家戸数	20戸以上	10	7	・13戸
			5戸～19戸	7		
			1戸～4戸	3		
			0戸	0		
	公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 要配慮者利用施設 重要交通(緊急輸送道路、避難路、鉄道等) 防災拠点(警察、消防、役場等) ライフライン施設(電力、ガス、水道等) 利用者多数(学校、駅舎等)	公共・公益施設がある	10	10	・要配慮者利用施設(特別養護老人ホーム山館苑) ・重要交通(第一次緊急輸送道路(国道103号))
			なし	5		
			なし	0		
	事業の必要性					
	県関与の必要性	法令等で県が実施する事業 県が実施すべき広域的な事業 県が実施した方が望ましい事業	法令等で県が実施する事業	5	5	・砂防法により県が施行する工事
			県が実施した方が望ましい事業	1		
	流域の整備状況					
	砂防設備の整備状況	未整備 低い(土砂整備率30%以下) 低い(土砂整備率30%超)	未整備	5	5	・未整備
			低い(土砂整備率30%以下)	3		
			低い(土砂整備率30%超)	1		
計			30	27		
緊急性	災害実績	過去の災害発生履歴	過去に災害の発生した記録がある	10	0	・無し
			過去に災害の発生した痕跡や情報がある	5		
			なし	0		
	災害発生の危険度	想定される流出土砂量	1000m ³ 以上	7	7	・1267m ³
			1000m ³ 未満	3		
	想定される流出流量	20m ³ 以上	6	6	・31m ³	
		20m ³ 未満	3			
	荒廃面積	流域面積の10%以上 流域面積の10%未満	流域面積の10%以上	6	3	・流域面積の1.4%
			流域面積の10%未満	3		
	河床堆積、溪岸侵食状況	破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯 その他	破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯	6	6	・第三紀層
その他			3			
計			35	22		
有効性	上位計画への貢献	ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5	・「県土の保全と防災力強化」を推進する事業
			プランとは別の個別計画に関連する事業である	3		
			プラン、個別計画に関連しない事業である	0		
	ソフト対策との関連性	公表周知している情報の内容	土砂災害防止法に係る基礎調査	5	5	・土砂災害警戒区域・特別警戒区域指定済み
			土砂災害危険箇所マップ等	3		
計			10	10		
効率性	費用対効果	B/C	1.0以上	10	10	・B/C=7.68
			1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減	コスト縮減の具体的計画	あり	5	5	・残存型枠施工等の採用を検討し、縮減を図る
			なし	0		
計			15	15		
熟度	事業着手の熟度	地元のニーズ	要望あり	5	5	・大館市から要望有り
			なし	0		
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる 合意形成がなされる見込みである 合意形成がなされていない	合意形成が済んでいる	5	5	・自治会との合意形成済み
			合意形成がなされる見込みである	3		
			合意形成がなされていない	0		
計			10	10		
合計				100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		